

# 証券外務員一種・二種

## 合言葉de合格！法 サブノート連動問題集

### 7 財務諸表と企業分析

success3.jp

## 【財務諸表と企業分析 1】

- |    |  |    |  |   |
|----|--|----|--|---|
| 01 | 損益計算書は、企業の一定期間の経営成績を見るものであり、貸借対照表は、一定時点（決算日）の財政状態を評価するものである。 | 01 |  | ○ |
| 02 | キャッシュフロー計算書は、一定期間におけるキャッシュの出入りの状況を（3つの）活動領域と関連づけて示すものである。    | 02 | 3つの活動領域・・・営業活動、投資活動、財務活動の3つ。           | ○ |
| 03 | キャッシュフローのキャッシュとは、現金または現金と同じようなもの（現金同等物）いい、株式は現金同等物に含まれる。     | 03 | 株式は、すぐに引出せないし、価格変動リスクが高いので現金同等物には入らない。 | × |
| 04 | キャッシュフローにおけるキャッシュには、株式が含まれる。                                 | 04 | 株式は入らない                                | × |
| 05 | 連結財務諸表は、親会社と子会社の財務諸表を合算するものであり、 <b>すべての</b> 子会社を合算しなければならない。 | 05 | 必ずしもすべての子会社を合算する必要はない。<br>例外規定あり。      | × |
| 06 | 流動資産の中で、比較的短期間に現金化されるものを当座資産といい売掛金は含まれるが、たな卸資産は含まれない。        | 06 | 当座資産・・・現金、預金、受取手形、売掛金                  | ○ |
| 07 | 貸借対照表は、資金の調達と資金の運用（資金の使途）が表示されている。                           | 07 |  | ○ |
| 08 | <b>短期</b> 前払費用は、固定資産である。                                     | 08 | 短期前払費用は、流動資産である。<br>長期前払費用は、固定資産である。   | × |
| 09 | 土地・建物などの有形固定資産に対して、のれんや特許権など無形のものには繰延資産に分類される。               | 09 | のれん、特許権などの無形のものには、無形固定資産。              | × |
| 10 | 長期前払費用は、固定資産である。   | 10 |  | ○ |
| 11 | 繰延資産とは、支払いの済んだ費用であるが何年かにわたってその恩恵にあずかれるので資産とみなすものである。         | 11 |  | ○ |
| 12 | 創立費、開業費、社債発行費、開発費等は、繰延資産と呼ばれる。                               | 12 |  | ○ |
| 13 | 退職給付引当金は、固定負債に分類される。   | 13 |  | ○ |
| 14 | 原材料や完成途中の半製品は、たな卸資産には入らない。                                   | 14 | 原材料、仕掛品・貯蔵品、半製品等もたな卸資産に含まれる。           | × |
| 15 | 売上高から原価を引いたものが、売上総利益である。                                     | 15 |  | ○ |



## 【財務諸表と企業分析3】

- |    |  |    |  |   |
|----|--|----|--|---|
| 01 | 自己資本利益率（ROE）の高い企業は、収益力の高い企業である。                                    | 01 |  | ○ |
| 02 | 総資本（純）利益率は、企業に投下された資本がどれだけ効率よく使われて収益を上げているかどうかを判定する比率である。          | 02 | 総資本（純）利益率・・・資本の効率的利用を判定するもの。                                     | ○ |
| 03 | 自己資本利益率（ROE）は、株主が拠出した自己資本を用いて企業が株主のためにどれだけ収益を上げたかどうかを示す指標である。      | 03 |  | ○ |
| 04 | 自己資本利益率（ROE）が一定の場合、資本金の割合が高い企業ほど資本金（純）利益率は高くなる。                    | 04 | （自己資本利益率が一定の場合）資本金の割合が高い企業ほど、資本金（純）利益率は低くなる。                     | × |
| 05 | <b>尻（しり）</b> が一定の場合、 <b>お金が重い</b> （資本金の割合が高い） <b>ほど尻の位置は低くなる</b> 。 | 05 | （自己資本利益率が一定の場合）資本金の割合が高い企業ほど、資本金（純）利益率は低くなる。                     | ○ |
| 06 | 自己資本比率が低い企業ほど、不況（売上減）に対するの抵抗力があるといえる。                              | 06 | 自己資本比率が高い企業ほど、不況に対して（売上減に対して）抵抗力があるといえる。                         | × |
| 07 | 流動比率が低い企業ほど安全性が高いといえる。   | 07 | 流動比率は高いほど良い。200%以上が望ましい。   | × |
| 08 | 流動比率は安全性をみる指標で、200%以上あることが望ましい。                                    | 08 |  | ○ |
| 09 | 当座比率は高いほど良い。   | 09 | 100%以上が望ましい。   | ○ |
| 10 | 固定比率は、固定負債に対する固定資産の割合で、低いほど良い。                                     | 10 | 固定比率は、自己資本に対する固定資産の割合。低いほどよい。100%以下が望ましい。                        | × |
| 11 | 固定長期適合率は、固定資産がどれだけの自己資本と少数株主持分と固定負債等の長期性の資本で、まかなわれているかをみるものです。     | 11 |  | ○ |
| 12 | 固定長期適合率は低いほど良く、100%以下が望ましいとされている。                                  | 12 |  | ○ |
| 13 | 固定長期適合率が100%の場合、流動比率も100%となる。                                      | 13 |  | ○ |
| 14 | 総資本回転率が1.0回の場合、総資本回転期間は12月である。                                     | 14 | 回転率×回転期間=12（月）   | ○ |
| 15 | 総資本回転率が0.8回の時の総資本回転期間は9.6月である。                                     | 15 | $0.8 \times \text{回転期間} = 12$ $\text{回転期間} = 12 \div 0.8 = 15$ 月 | × |



## 【財務諸表と企業分析5】

- |    |  |    |   |   |
|----|--|----|---|---|
| 01 | 配当性向の高い会社は、株主への利益還元優先であり、それだけ内部留保が少なくなることから将来の財務基盤は弱くなることになる。                          | 01 |   | ○ |
| 02 | 資本金 10 億円（期中平均）、株式数 2,000 万株の会社の 1 株当たり配当金が年 4 円の場合、配当率は 4% である。                       | 02 | 配当金=4 円×2,000 万株=8,000 万円<br>配当金÷資本金×100=8,000÷10 億円×100=8%               | × |
| 03 | 資本金 10 億円（期中平均）、株式数 2,000 万株、当期純利益 5 億円の会社 1 株当たり配当金が年 4 円の場合の配当性向は 16% である。           | 03 | 配当金=4 円×2,000 万株=8,000 万円<br>配当金÷当期純利益×100=8,000÷5 億円×100=16%             | ○ |
| 04 | 売上高から変動費を引いたものが、限界利益である。   | 04 |   | ○ |
| 05 | 変動費÷売上高=変動費率 である。  | 05 |   | ○ |
| 06 | 1-変動費率=限界利益率 という。  | 06 |   | ○ |
| 07 | （損益分岐点の）売上高は $\frac{\text{固定費}}{1-\text{変動費率}}$ である。                                   | 07 |   | ○ |
| 08 | 連結財務諸表の作成は、親会社が他の会社を支配するに至った日に作成する。  | 08 |   | ○ |
| 09 | 子会社資本 1 億円のうち、親会社が 8,000 万円分を所有している場合少数株主持分は 2,000 万円である。                              | 09 |   | ○ |
| 10 | 少数株主持分とは、子会社の資本の中で親会社に帰属しない部分をいう。  | 10 |   | ○ |
| 11 | 親会社は、 <b>必ず</b> 子会社を連結の対象としなければならない。   | 11 | 例外あり。・支配が一時的と認められる会社等 ・連結することで利害関係の判断を著しく誤らせるおそれがある会社。                    | × |
| 12 | 営業キャッシュ・フロー有利子負債比率の計算において、有利子負債の残高には、社債やCP（コマーシャル・ペーパー）は含まれない。                         | 12 | 社債やCP（コマーシャル・ペーパー）も含まれる。  | × |
| 13 | 変動費 1,800 万円、固定費 3,000 万円、売上高 5,000 万円の会社の損益分岐点売上高は、4,800 万円である。                       | 13 | 1,800 万円+3,000 万円ではない。固定費÷（1-変動費率）<br>3,000 万円÷（1-1,800/5,000）=4,687.5 万円 | × |
| 14 | 変動費 1,800 万円、固定費 3,000 万円、売上高 5,000 万円の会社の損益分岐点売上高は、4,687.5 万円である。                     | 14 | 固定費÷（1-変動費率）<br>3,000 万円÷（1-1,800/5,000）=4,687.5 万円                       | ○ |
| 15 | 変動費 1,800 万円、固定費 3,000 万円、売上高 5,000 万円の会社の損益分岐点比率は、4,687.5 万円÷5,000 万円×100=93.75% である。 | 15 |   | ○ |

## 証券外務員一種・二種試験の合格応援サイト サクセスキューブ

<http://www.success3.jp>

証券外務員は一種試験も一般に開放されました。  
(二種合格者でなくても一種試験を受験することが  
可能となりました。)

※ サクセスキューブは、二種合格者でなくても一種試験に合格することができるようにオリジナルサブノートを用意いたしました。

また、サブノートに完全連動した問題集も付属しています。

※ サクセスキューブは、証券外務員一種試験・二種試験の合格を応援するサイトです。

合言葉 de 合格した「合格体験記＝合格ガイド」やオリジナルサブノートのサンプルを無料で公開しています。

(いつでも・どなたでも無料でダウンロードできます)

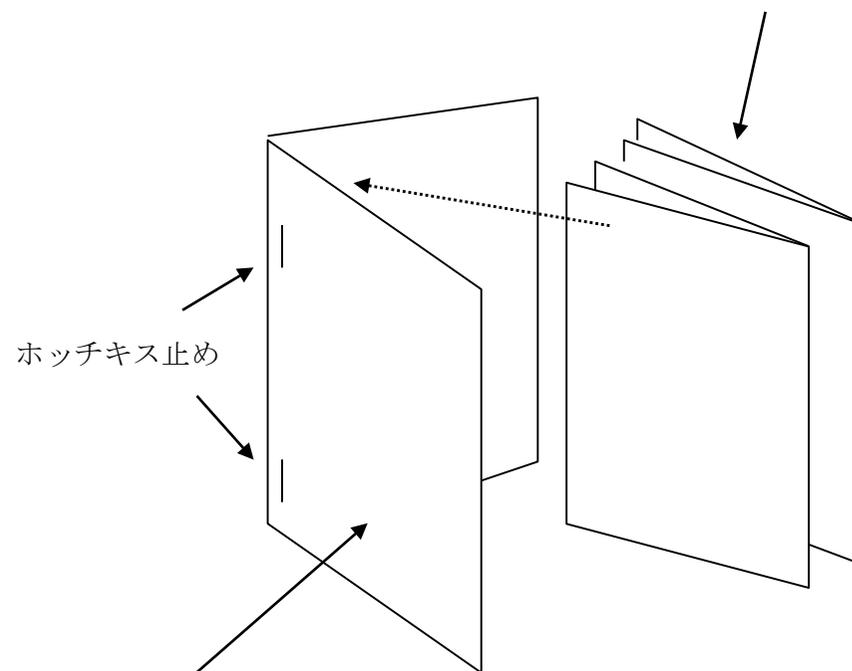
無料ダウンロードできる手づくりのサブノートと  
サブノート連動の手づくり問題集はサイトにて  
お確かめください。

無料ダウンロードはこちらから ⇒ <http://www.success3.jp>

## オリジナルサブノート連動・問題集の使い方

※ このページは説明用ページ（綴り込み不要）です。

前ページまでの問題集ページを山折りにして綴り込む。



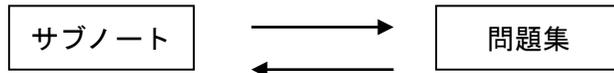
トップページ（1ページ・表紙ページ）を谷折りにして閉じ込む。

※ プリンターで何部でも印刷可能です。  
自宅に、通勤用カバンに、職場などに用意してボロボロになる  
くらいまで活用してください。

※ 正解できるものは、どんどん消し込み（左側の番号に×印）して  
弱点を克服してください。

## オリジナルサブノート連動・問題集の活用方法

この問題集は、手づくりオリジナルサブノート・合言葉 d e 合格！法と完全連動の問題集です。



ぜひ、両者間を行ったり来たりしてください。  
問題集からの刺激が、サブノートを読んだ時のアハ体験！にもつながります。

### ポイント1

目で読む（黙読する）、心の中で独り言をつぶやくように（無声音で）繰り返し・繰り返し（反復×反復）で理解→記憶へと刻みつけてください。

例えば、本問題集の1-01だと以下のようになります。

「損益計算書は、企業の一定期間の経営成績を見るものであり、貸借対照表は、一定時点（決算日）の財政状態を評価するものである。（○か×か？）」「○！」

「そんえきけいさんしょは、きぎょうのいっていきかんのけいえいせいせきをみるものであり、たいしゃくたいしょうひょうは、いっていじてん（けっさんび）のざいせいじょうたいをひょうかするものである。「まる！」というような感じです。

さらに「○」が正解の場合でも、右側に重要な点・解説がありますので、それまで読んで（無声音でつぶやいて）ください。

もちろん×の場合だと、「×（ばつ）！」のあとに正解や解説等を続けて、読んでください。

※ ここでは一瞬（瞬間的に）自分で解答を考えてから（短時間で反応してから）、右の解答を確認しても良いのですが、いちばん最初は、問題文を

読んだらすぐ右の解答を見て、正解を確認、心の中で○とか×とかを問題文に続けて読んでみることもお勧めします。（あくまでも第一回目です。）

※ このやり方で早めに第一回目の問題集踏破が可能になります。  
（ぜひ試してみてください。）

もちろん、一瞬考えてから正確を確認する、というやり方でも構いません。  
要は、繰り返し・繰り返しで、理解から→記憶済みの問題数をだんだんと増やして行ってください。  
持ち歩いたり、あるいは何冊か作成して、自宅に職場に、通勤カバンにとスキマ時間を活用するために工夫してください。

### ポイント2

この問題集をICレコーダーに録音して、それこそ通勤時などに耳から聴く・記憶に刻みつけるという方法もあります。  
そのために、長い問題文ではなく二行以内で問題文が終わる形にしてあります。

ですので、ぜひICレコーダーをお持ちの方はご自分の声で録音して、スキマ時間を活用されることをお勧めいたします。

※ 今は安価なものでも倍速とまではいかななくても再生スピードを10%、20%アップできる機種もあります。

（将来的には、mp3ファイル等に音源化してダウンロードできるようにして、お手持ちの音楽プレーヤーやスマートフォンなどで学習できるようにする予定です。）⇒ 順次、YouTube 講座として活用できるようにしてあります。

（サイトにてご確認ください）

※ オリジナルサブノートと手づくり連動問題集の学習方法等につきましてはサイトでも体験的に紹介させていただいております。

⇒ <http://www.success3.jp/>

## 外務員資格試験取得を応援するオリジナルサブノートと問題集について

このオリジナルサブノートと問題集は、最近たくさんの方が馴染みのあるブログ記事・コメント風に（また、ビジネススクールの講義会話風に）作成したものです。（従来の参考書等とは異なるスタイルです。）

まずは外務員資格試験に合格していただくことを最大の使命として誕生しました。

当社のオリジナルサブノートと問題集は、外務員一種試験を受験し最初不合格そして二回目の受験で合格となった個人体験から出題傾向や試験問題パターンを分析した上で、傾向と対策としてオリジナルサブノートと問題集をとりまとめたものです。

よって、出題頻度が低いと予想できるといった内容の記述であっても、それでもって、完全に出題されないと断定するものではありません。

もちろん低い頻度や理解記憶不要であると予想した問題が出題された場合の全責任は当社にあります。

金融商品取引法には

「・・・有価証券の発行及び金融商品等の取引を公正にし、有価証券の流通を円滑にするほか、資本市場の機能の十全な発揮による金融商品取引等の公正な価格形成等を図り、もって国民経済の健全な発展及び投資者の保護に資することを目的とする。」とあります。

当然に金融商品取引業者等とその金融商品取引業者等に勤務する外務員は、金融商品取引法の目的のために重要な役割を果たす必要があり、投資家保護という観点のみならず、資本市場に対して相当な責任を負っていることとなります。

外務員資格取得を目指して試験にチャレンジする皆さんは、決して外務員試験合格がゴールではありません。

合格後も、いろんな制度の情報収集や新たに開発される商品についての知識向上、あるいは経済情勢の判断など、不断の努力がより一層求められることは間違いありません。

当社のオリジナルサブノートと問題集は、二種外務員試験・一種外務員試験の受験生に対して、可能な限り短期間で合格を目指すためにポイントを絞り込んで、『合言葉』というキーワードとイメージを活用しながら、取り組んでいただくことを最大の狙いといたしております。

（なぜなら、受験生によっては仕事や人生の経験から馴染みのない難解な言葉・概念や、そこから用意される問題等の理解・記憶において皮膚感覚で困難を感じている方もいらっしゃるからです。）

つきましては、「外務員試験合格で良し」とすることなく、とりわけ実際の試験の時に間違っていると認識できる範囲の問題や自分なりに不十分だと認識できる分野・概念等々を合格後も追加の学習や不断の努力にてより高い水準へと知識・スキルを高めていかれることをお勧めいたします。

当社といたしましては、一人でもたくさんの方が外務員資格試験に合格されることで、仕事遂行面での貢献やさらなる人生の展開、あるいは就職活動や派遣登録等におかれましてより選択肢が増えることにつながればこれ以上の喜びはございません。

※ なお、オリジナルの手づくりサブノートと問題集は（実際の試験・出題傾向等に際しまして）日本証券業協会さまとは一切関係がございません。

※ あくまでも当社が独自の観点から出題傾向とポイントを分析した上で、記載内容を吟味して作成したものです。

資格試験の学習及び試験本番に臨まれる時にはその旨十分にご了承ください。

いずれにしましてもこのオリジナルサブノートと問題集の記載内容につきましても全責任は当社にあります。

万が一、記載内容そのものの誤謬や記載につきましても不備等が存在した場合の全責任も当社に帰属するものです。